



学校適正配置等審議会における全市的な観点での議論のまとめ

1. 本市の特性を踏まえた市立学校の配置について
市内5地区において中学校区を設定して、それぞれの地区内で検討する
2. 小中一貫教育の更なる推進を図るための方策について
 - ・ 中学校区内で、保護者や小中学校の教職員が一層の連携を図り、目的や目標など共通認識の下で取組を進める
 - ・ 児童生徒の成長できる施設環境の発展形の一つとして「義務教育学校」が考えられる
 - ※ 地域の特性や学校施設の個別事情など総合的に検討する必要がある

R4~5 西部地区に関する主な取組

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 令和4年6~7月 | 保護者アンケートの実施 |
| 令和4年7月14日 | 第1回 保護者意見交換会の実施 (一案として義務教育学校案) |
| 令和4年8月21日 | 第1回 地域意見交換会の実施 (一案として義務教育学校案) |
| 令和4年8月25日 | 第2回 保護者意見交換会の実施 (オンライン開催) |
| 令和4年11月1日 | 第2回 地域意見交換会の実施 |
| 令和4年12月 ~令和5年1月 | 児童生徒アンケートの実施 |
| 令和5年2月6日 | 西部地区における今後の小・中学校の在り方について (諮問) |
| 令和5年11月28日 | 西部地区における今後の小・中学校の在り方について (答申) |



北広島市の学校教育の特徴

【北広島市のめざす子ども像】

『大志をいだき 心豊かに たくましく 生きる子ども』
～ 自立 ・ 協働 ・ 創造 ～

⇒コミュニティ・スクールを基盤とした**小中一貫教育**の推進

西部地区の教育に関する主な動き（R5）

➤ 令和5年11月、北広島市立学校適正配置等審議会から、
「西部地区における今後の小・中学校については、西部小学校を
活用した施設一体型義務教育学校が望ましい」と答申を受ける

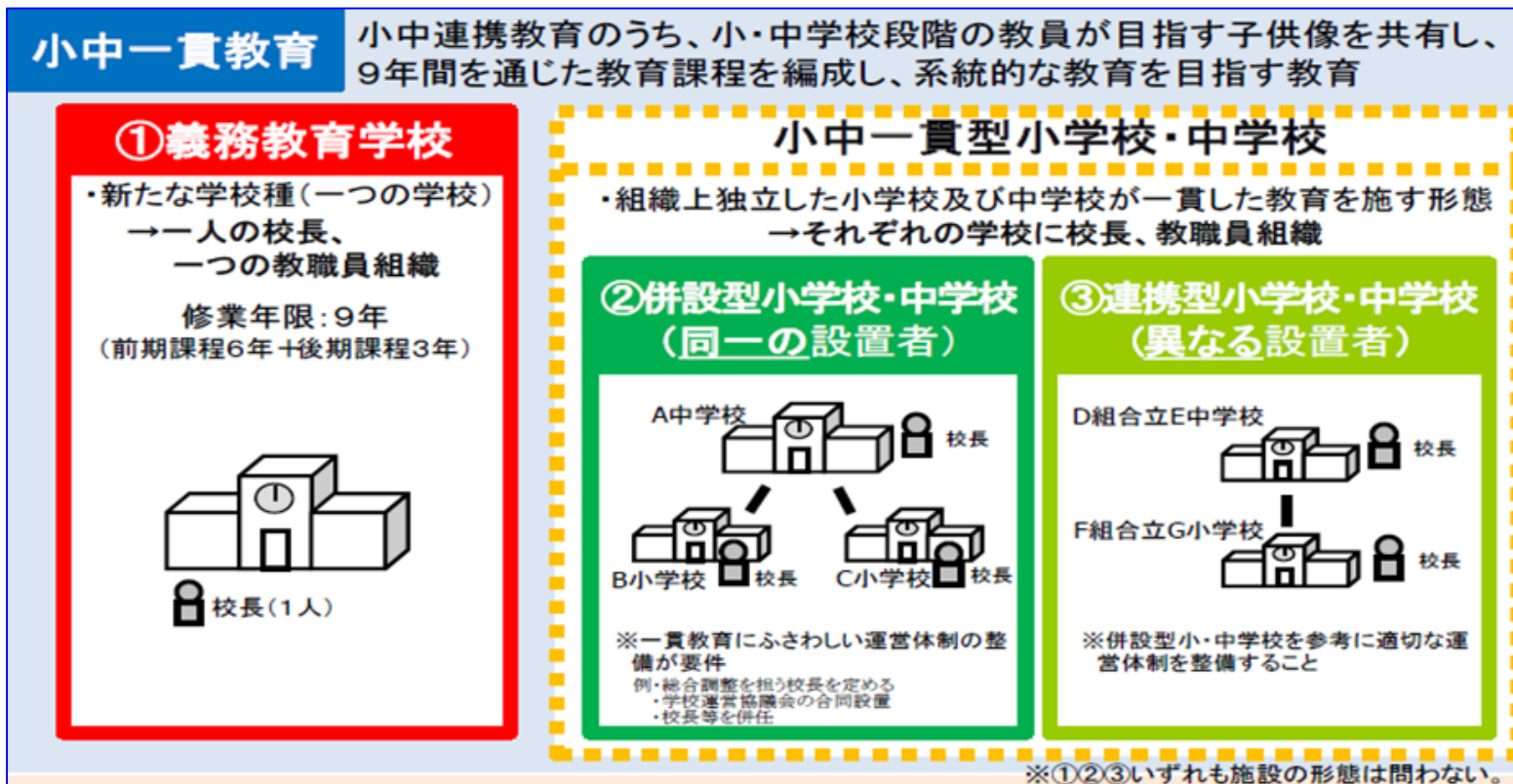


西部小学校を活用した義務教育学校の設置について検討を開始



義務教育学校設置における期待

- 小中一貫教育のさらなる推進 → きめ細かな生活・学習指導、豊かな心の育成
- 集団規模（児童生徒、教職員）の拡大 → 多様な意見・価値観、専門的な指導
- 様々な学年との日常的な交流活動 → 合同授業、児童・生徒会
- コミュニティ・スクールの充実 → キャリア教育、地域活動への参加





西部地区における今後の学校の在り方についての検討方針

- 西部小学校を活用した施設一体型義務教育学校の設置に向け、保護者や地域等から幅広い合意が得られるよう取組を推進する
- 跡施設となる西部中学校について、地区の今後の公共施設全体の在り方を含め、まちづくりの観点から有効活用策の検討を行う

今後の取組

- 児童生徒・保護者・地域・教職員の皆様との意見交換
- アンケート調査等の実施



児童生徒・保護者・地域・教職員の皆様と一緒に考える機会を設けながら、**西部地区における教育環境の充実と地域の活性化**につながるよう取組を進めていきます